2027 年度

看護師の特定行為研修

募集要項

地方独立行政法人　佐賀県医療センター好生館

指定研修機関番号：1941003

特定行為研修の概要

１．好生館設立の理念

「好生の徳は民心にあまねし」*

「学問なくして名医になるは覚束なきことなり」

＊「好生」という言葉は中国の書経の中の「好生の徳は、民心にあまねし」からとられ、心身ともに健康で生き甲斐のある人生を送るという意味が込められている。

その「好生」を広く正しく県民に賦与するために「好生館」が設立された。

２．好生館の基本理念

「病む人、家族、そして県民のこころに添った最良の医療をめざします」

3．特定行為研修の理念

当館は地域医療の中核病院として、高度医療の提供およびチーム医療を推進している。特定行為研修を通して、佐賀県における急性期医療から在宅医療に至るまで、地域医療の質向上に貢献し、安全で安心な医療を提供できる看護師を育成することを目指す。

4．教育目標

多様な臨床現場で高度な実践能力を発揮し、チーム医療のキーパーソンとして柔軟に対応できる看護師を育成する。

1）高度急性期医療および地域医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、患者の状態を的確に判断できる能力を養う。
2）臨床判断を適切なタイミングで行い、患者の安全・安心に配慮して必要な特定行為を実践できる能力を養う。
3）医療と看護を融合させ、患者・家族の最善の選択を支援するための能力を養う。
4）患者・家族の複雑なニーズに対応できるように、チーム医療のキーパーソンとして多職種の力を引き出し、柔軟に対応できる能力を養う。
5）自己研鑽に努め、医療の変化に対応できる能力を養う。

5．研修の特色

1）看護師として勤務しながら研修が可能

共通科目および区分別科目の講義は、e-ラーニングを利用して行うので、当施設での聴講のみではなく自宅での自己学習も可能である。演習および実習は、専門医資格を有する医師および認定看護師の直接指導の下に行う。

2）当館は基幹型臨床研修病院として認定されており、教育指導者の体制および設備環境（シミュレーション室など）が充実している。

6．研修プログラム

研修内容と時間数

研修は、「共通科目」と「区分別科目」に分かれている。

【共通科目】（必修科目）

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

（講義：e-learning、演習･実習･試験：集合研修）

共通科目名	時間数		
	講義	演習･実習	試験
臨床病態生理学	27	2	1
臨床推論	35	9	2.5
フィジカルアセスメント	39	5	2
臨床薬理学	35	9	1
疾病・臨床病態概論	34	4	2
医療安全学／特定行為実践	22	22	5.5
合計	257 時間		

【区分別科目】（選択科目）：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

（講義：e-learning、演習･OSCE･試験：集合研修、実習：臨地実習）

1）救急領域（＊共通科目の受講は必須）

	特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
救急領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	講義： 9	5
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	講義：21 演習： 8	各 5
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	講義：13	各 5
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	講義：10 演習： 1	5
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	講義：18 演習： 2	5
	救急領域　区分別科目修了試験		5	
	実技試験（OSCE）		3	
	合計		90 時間	45 症例

＊シミュレーションによる学習あり

2）周術期麻酔管理領域（＊共通科目の受講は必須）

	特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
周術期麻酔管理領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	講義： 9	5
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸器からの離脱	講義：13 演習： 4	各 5
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	講義：13	各 5
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	講義：10 演習： 1	5
	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	講義： 7 演習： 1	5
	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	講義：11 演習： 1	5
	術中麻酔管理領域　区分別科目修了試験		6	
	実技試験（OSCE）		3	
	合計		79 時間	40 症例

＊シミュレーションによる学習あり

＊今年度より術中麻酔管理領域から周術期麻酔管理料域へ名称変更

3）基本コース（＊共通科目の受講は必須）

特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	講義：14 演習： 2	各 5
区分別科目修了試験		1	
合計		17 時間	10 症例

4）追加オプション

（＊基本コースに追加する者、すでに共通科目を履修している者が選択可能）

特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 胸腔ドレーンの抜去	講義：12 演習： 1	各 5 症例
区分別科目修了試験		1	
合計		14 時間	10 症例

＊シミュレーションによる学習あり

特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜去を含む）	講義：8	5 症例
区分別科目修了試験		1	
合計		9 時間	5 症例

＊シミュレーションによる学習あり

特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	講義：7	5 症例
区分別科目修了試験		1	
合計		8 時間	5 症例

＊シミュレーションによる学習あり

特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	講義：5	5 症例
区分別科目修了試験		1	
合計		6 時間	5 症例

＊シミュレーションによる学習あり

特定行為区分名	特定行為名	時間数	実習 症例数
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	講義：7 演習：1	5 症例
区分別科目修了試験		1	
合計		9 時間	5 症例

※行為の難度によっては、5～10 例程度の症例数を経験することとなる。

7. 研修方法

1）研修期間

2027 年 4 月 1 日（木）～　2028 年 3 月 31 日　（金）

2）研修日程（祝日、シラバス内容、医師の予定などにより日程変更あり）

研修科目	共通科目	区分別科目		
		周術期麻酔管理領域	救急管理領域	基本コース 追加オプション
研修期間	7 ヶ月間	5 ヶ月間		
研修日	第 2・第 4 水曜日	第 2・第 4 水曜日	第 2・第 4 火曜日	第 1・第 3 水曜日

3）研修場所

e-learning：当館及び自施設・自宅
集 合 研 修：佐賀県医療センター 好生館　研修棟シミュレーター室
臨 地 実 習：佐賀県医療センター 好生館　病院棟
　　他施設からの受講者は、原則所属施設で実習

8. 成績評価及び修了認定

共通科目と各区分別科目の評価および修了認定は、看護師の特定行為研修管理委員会で判定される。共通科目をすべて履修し、修了試験および観察評価に合格した後に区分別科目を履修する。各区分別科目の修了試験および観察評価に合格することが修了要件となる。試験は、修了試験、実技試験（OSCE）および観察評価などを各科目修了後に行う。

9. 履修免除について

指定研修機関で既に履修した授業科目や時間数の取り扱いおよび履修の認定については、開講する科目の受講に当たり考慮する。共通科目については、各科目の合致と修得の程度を確認する。区分別科目については、科目の合致と修得の程度の確認、さらに当該看護師が特定行為を手順書により行うための能力を有しているか確認する。以上を特定行為研修管理委員会において審議し承認を得る。

応募要領

1．志願資格

特定行為研修受講志願者は、次の 1)～3）に定めるすべての要件を満たしていることが必要となる。

1）　日本国の看護師免許を有すること

2）　看護師免許取得後、看護実務経験が通年 5 年以上であること

3）　所属する施設長または看護部門責任者の推薦があること

＊館外からの志願者は基本コースのみとし、原則、所属施設で区分別科目実習ができること

2．定員

1）救急領域（館内志願のみ）

特定行為区分名	特定行為名	定員
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2名
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	

2）周術期麻酔管理領域（館内志願のみ）

特定行為区分名	特定行為名	定員
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2名
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	

3）基本コース（館外からの志願も可能）

特定行為区分名	特定行為名	定員
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	4名
	脱水症状に対する輸液による補正	

4）追加オプション（館内志願のみ）

対象者：「基本コース」を受講する者、もしくは、
特定行為研修修了後、1 年以上経過した者
（1 区分のみの受講でも可）
※同年、領域別パッケージを受講する者、もしくは特定行為研修修了後
トレーニング期間にある者は、追加受講不可とする。

特定行為区分名	特定行為名	定員
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	各2名
	胸腔ドレーンの抜去	
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜去を含む）	
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与量の調整	

3. 出願書類

下記書類（ア）～（サ）に必要事項を記入の上、募集期間内に提出する。
尚、提出書類については、返却しかねるため、あらかじめご了承いただきたい。
（ア）看護師特定行為研修 受講申請書（様式 1）
（イ） 履歴書（様式 2）
（ウ） 志望理由書（様式 3）
（エ） 推薦書（様式 4）
（オ） 看護師免許証（写し　A4 サイズ）
（カ） 受験票
（キ） 写真票（写真 1 枚　サイズ　縦 4.5ｃｍ×横 3.5ｃｍ）
（ク）返信用封筒：長 3 封筒(長形 3 号)
（封筒に受験者の郵便番号、住所、氏名を書き、簡易書留速達分切手(760 円分)を貼付）

※特定行為区分別科目のみの受講希望者は、（ア）～（ク）の書類と合わせて下記書類を提出する。
（ケ）履修免除申請書（様式５）
（コ）特定行為研修修了書等の修了を証明する書類

※館外からの志願者は、（ア）～（ク）の書類と合わせて、下記書類を提出する。
（サ）栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連に関する実習症例数の見込み（様式 6）

4. 出願期間

2026 年 11 月 2 日（月）～　11 月 27 日（金）12：00 必着

5. 出願方法

提出書類一式を「簡易書留」で郵送、もしくは直接持参する。郵送の場合、封筒には朱書きで、「特定行為研修受講申請書類在中」と記載する。

6. 審査料の納付

審査料　10,000 円（税込）
審査料は、請求書に明記された振込先へ支払期限までに、申請者本人で申し込むこと。請求書は、出願書類の提出を確認後、当館より請求書を送付する。
※納付された審査料は返還できかねます。

7. 選考方法・面接日時

選考方法：書類審査、面接
面接日時：2026 年 12 月 10 日（木）　10：00
佐賀県医療センター好生館　多目的ホール AB

8. 合否発表

2026 年 12 月 25 日（金）

選考結果（合否）は、発表日に以下の方法で通知いたします。

1. 電子メールによる速報通知

   発表日当日に、出願時にご登録いただいたメールアドレス宛に選考結果の速報を配信いたします。

   ※ ドメイン指定受信等の設定をされている方は、事前に「@koseikan.jp」からのメールを受信できるよう設定してください。

2. 結果通知書の郵送（公式通知）

   発表日当日付で、受験者本人宛に「選考結果」を簡易書留等にて発送いたします。

※ 正式な合否結果は、郵送される書面にて必ずご確認ください。

【注意事項】

• 電話、メール等による合否および選考内容に関するお問い合わせには、一切応じられません。

• 発表日翌日以降になってもメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ等をご確認の上、総合教育研修センターまでご連絡ください。

９．履修科目免除について

受講申請時の書類提出と面接の結果により、特定行為研修管理委員会で承認後、合格通知書と共に結果を通知する。

10. 受講料

別表参照

11.その他

選考試験に合格した者は、研修前に SQUE の「事前能力評価試験」を受講する。

研修期間中は、任意保険(看護師賠償責任保険)への加入が必要である。

12. 提出先および問い合わせ先

提出先：地方独立行政法人　佐賀県医療センター好生館
　　総合教育研修センター　看護師の特定行為研修　担当者宛
住　所：郵便番号　840-8571 佐賀県佐賀市嘉瀬町中原 400 番地
ＴＥＬ： 0952-28-1206（総合教育研修センター）　ＦＡＸ：0952-28-1281
＊お問い合わせは、平日（月～金）の 8 時 30 分～16 時 30 分までにご連絡下さい。

個人情報の取り扱いについて

●佐賀県医療センター好生館では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。

●出願および 受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講 手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。

●当館が 取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません

別表

受講料

１．受講納付金

館外生	館内生
20,000	20,000

２．受講料

１）共通科目

館外生	館内生
230,000	161,000

２）区分別科目

（1）救急領域パッケージ（5区分9行為）

区分別科目		特定行為別	時間数			受講料（5000円／時間）			パッケージ受講料	
			（共通）基礎知識	行為別	計	（共通）基礎知識	行為別	小計	館外生	館内生
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管ﾁｭｰﾌﾞ又は経鼻用気管ﾁｭｰﾌﾞの位置の調整	4	6	10	20,000	30,000	50,000	425,000	297,500
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱	5	6 6 6 6	29	25,000	30,000 30,000 30,000 30,000	145,000		
3	動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	5	5 5	15	25,000	25,000 25,000	75,000		
4	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正	6	5	11	30,000	25,000	55,000		
5	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	・抗けいれん剤の臨時の投与	14	6	20	70,000	30,000	100,000		

(2)周術期麻酔管理領域パッケージ（6区分8行為）

区分別科目		特定行為別	時間数			受講料（5000円／時間）			パッケージ受講料	
			（共通）基礎知識	行為別	計	（共通）基礎知識	行為別	小計	館外生	館内生
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管ﾁｭｰﾌﾞ又は経鼻用気管ﾁｭｰﾌﾞの位置の調整	4	6	10	20,000	30,000	50,000	365,000	255,500
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱	5	6 6	17	25,000	30,000 30,000	85,000		
3	動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	5	5 5	15	25,000	25,000 25,000	75,000		
4	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液 による補正	6	5	11	30,000	25,000	55,000		
5	術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	4	4	8	20,000	20,000	40,000		
6	循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	8	4	12	40,000	20,000	60,000		

（3）基本コース（1区分2行為）

（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）

区分別科目		特定行為別	時間数			受講料（5000円／時間）			基本コース受講料	
			（共通）基礎知識	行為別	計	（共通）基礎知識	行為別	小計	館外生	館内生
1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正	6	5 5	16	30,000	25,000 25,000	80,000	80,000	56,000

（4）オプション（選択科目）

（胸腔ドレーン管理関連　腹腔ドレーン管理関連　栄養に係るカテーテル管理関連　創部ドレーン管理関連　術後疼痛管理関連）

区分別科目		特定行為別	時間数			受講料（5000円／時間）			オプション受講料	
			（共通）基礎知識	行為別	計	（共通）基礎知識	行為別	小計	館外生	館内生
1	胸腔ドレーン管理関連	・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 ・胸腔ドレーンの抜去	5	8	13	25,000	20,000 20,000	65,000	65,000	45,500
2	腹腔ドレーン管理関連	・胸腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜去も含む）	4	4	8	20,000	20,000	40,000	40,000	28,000
3	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去	3	4	7	15,000	20,000	35,000	35,000	24,500
4	創部ドレーン管理関連	・創部ドレーンの抜去	2	3	5	10,000	15,000	25,000	25,000	17,500
5	術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	4	4	8	20,000	20,000	40,000	40,000	28,000

３．合計金額（受講納付金＋受講料）

区分別科目		特定行為別	支払項目			受講料合計	
			納付金	共通科目	区分別科目	館外生	館内生
1	救急領域パッケージ	（5区分9行為）	○	○	○	675,000	478,500
2	周術期麻酔管理領域パッケージ	（6区分8行為）	○	○	○	615,000	436,500
3	基本コース	（1区分2行為）	○	○	○	330,000	237,000
4	オプション	胸腔ドレーン管理関連	○	－	○	85,000	65,500
		腹腔ドレーン管理関連	○	－	○	60,000	48,000
		栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	○	－	○	55,000	44,500
		創部ドレーン管理関連	○	－	○	45,000	37,500
		術後疼痛管理関連	○	－	○	60,000	48,000

※　オプションを２区分以上選択する場合は、納付金20,000円と各区分別科目の受講料を合計したものとする。

※　受講料の振込みについては合否発表後に詳細を案内いたします

＊受講決定後の支払総額について（例）

	審査料	受講納付金	受講料		支払総額
			共通科目	区分別科目	
館内受講者 （基本コース＋腹腔ドレーン）	10,000(円)	20,000(円)	161,000(円)	56,000(円) 28,000(円)	275,000(円)
館外受講者 （基本コース）	10,000(円)	20,000(円)	230,000(円)	80,000(円)	340,000(円)